

2020年度採用

茨城県公立学校教員 選考試験案内

一人一人が輝く教育立県を目指して
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～



大きな
変更点



- 採用時の年齢上限を撤廃しました。(全校種)
- 第2次試験における小学校実技試験を廃止しました。(小)
- 中学校受験者の小学校教諭併願を実施します。(中)
- 高等学校教諭受験者の中高一貫校教諭併願を実施します。(高)
- 社会人特別選考の資格要件を緩和しました。(高)
- 2期募集を実施します。(全校種)
- 加点制度における資格要件を追加しました。(全校種)

教諭・養護教諭・栄養教諭

- ・電子申請: 5月13日(月)~24日(金)午後5時まで
- ・郵送受付: 5月13日(月)~24日(金)(消印有効)
- ・窓口受付: 5月13日(月)~17日(金)午後5時まで
(午前9時~正午, 午後1時~5時)

第1次試験 7月14日(日)

第2次試験 8月24日(土)~25日(日)

実習助手

- ・電子申請: 7月16日(火)~22日(月)午後5時まで
- ・郵送受付: 7月16日(火)~22日(月)(消印有効)
- ・窓口受付: 7月16日(火)~22日(月)午後5時まで
(窓口受付は、土日を除く,
午前9時~正午, 午後1時~5時)

第1次試験 9月15日(日)



茨城県教育委員会

本県の求める教師像



- 1 教育者としての資質能力に優れた、人間性豊かな教師
- 2 使命感に燃え、やる気と情熱をもって教育にあたることができる活力に満ちた教師
- 3 広い教養を身に付け、子どもとともに積極的に教育活動のできる指導力のある教師
- 4 子どもが好きで、子どもとともに考え、子どもの気持ちを理解できる教師
- 5 心身ともに健康で、明るく積極的な教師

2020年度採用選考試験の主な変更点

- 1 採用時の年齢上限を撤廃しました。(全校種)
 - ・59歳までの受験を可能としました。
- 2 第2次試験における小学校実技試験を廃止しました。(小)
 - ・小学校教諭選考試験で実施していた音楽実技（ピアノ歌唱・弾き歌い）及び体育実技（水泳・基礎的な運動）を廃止しました。
- 3 中学校教諭受験者の小学校教諭併願を実施します。(中)
 - ・小学校教諭の併願を希望する受験者については、2次試験において、「小学校教諭」との併願として選考を実施します。
- 4 高等学校教諭受験者の中高一貫教諭併願を実施します。(高)
 - ・高等学校教諭受験者の中高一貫校併願を実施し、高等学校受験者のうち、中高一貫校へ配属を希望する、志の高い人財を確保します。
- 5 社会人特別選考の資格要件を緩和しました。(高)
 - ・高等学校の一部の教科・科目で実施していた「社会人特別選考」を、「高等学校全教科・科目」にしました。
- 6 2期募集を実施します。(全校種)
 - ・秋以降、「現職教諭」「社会人」「障害者」「英語の資格」「ネイティブ教員」等を対象とした2期募集を行います。
- 7 加点制度における資格要件を追加しました。(全校種)
 - ・第2外国語、情報、茨城国体の実績を、加点制度に追加しました。

選考種別	1 一般選考	2 障害者を対象とした選考
	3 講師等経験者特別選考（単願）	4 講師等経験者特別選考（併願）
	5 社会人特別選考	6 大学等推薦特別選考
	7 スポーツアスリート特別選考	8 離職者を対象とした特別選考

採用予定人数	小学校 教諭	中学校 教諭	高等学校 教諭	特別支援学校 教諭	養護教諭	栄養教諭	高等学校 実習助手	特別支援学校 実習助手
約390名	約290名	約160名	約90名	約37名	約5名	約2名	約2名	約2名

- 採用予定人数には、障害者を対象にした選考、講師等経験者特別選考、社会人特別選考、大学等推薦特別選考、離職者を対象とした特別選考、スポーツアスリート特別選考による採用を含めます。
- 小学校教諭390名には、算数教員と理科教員の各15名程度、中学校教諭小学校併願の若干名を含みます。
- 養護教諭は、主に小・中学校等に配置しますが、若干名を高等学校または特別支援学校に配置します。
- 栄養教諭は、小・中学校等に配置しますが、若干名を特別支援学校に配置します。
- 実習助手は、高等学校及び特別支援学校に配置します。実習助手の選考については、受験資格、出願手続き、日程等が教諭、養護教諭、栄養教諭とは異なりますので、「平成32年度（2020年度）採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項」をご覧ください。

一般選考 志願者の特例	特例事項	一般教養	教職専門	専門教科科目	実技試験	口述試験
	現職教諭等在職者	第1次試験を免除します				
	正規任用教諭等経験者	—	—	○	○	○
	国際貢献活動経験者	—	—	○	○	○
	英語の資格	○	○	—		—
	スポーツの実績	○	○	—	—	
	前年度の結果による免除者	第1次試験を免除します				
社会人経験者		—	—	○	○	○

※第1次試験で免除されるもの：— 受験を要するもの：○ 教科によって実施するもの：○

■詳細は、「平成32年度（2020年度）採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項」をご覧ください。

先輩からのメッセージ

子どもたちとともに学んでいこう

笠間市立友部第二小学校
教諭 飯塚 奈央

「先生って、いつも楽しそう。」と思ったのが、小学生だった私が教員を目指したきっかけでした。しかし、実際は「楽しい」と思える余裕はなく、学級経営に悩む日々が続きました。「こうすると、うまくいく」よりも、「こうすると、うまくいかない」ということの方が多い、反省点ばかりが出てきました。



しかし、小さなことにも驚き、日々学んでいる子どもたちの姿が、教員の道を歩み始めたばかりの自分と重なりました。そして、「これからたくさんのこと経験しながら、子どもたちとともに学んでいこう。」という思いが頑張る力になりました。大変なことも多いですが、その苦労が子どもたちの成長につながった時の喜びは何物にも代えがたいものです。それが一番のやりがいです。教員を目指す皆さん、その喜びをともに感じてみませんか。

子どもたちの笑顔のために

坂東市立沓掛小学校
養護教諭 本島 佐和子

私が養護教諭になって、初めての1年が終わりました。今は、優しくご指導してくださる先生方と明るく素直な子どもたちに出会えたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。



保健室には、様々な子どもたちが来室します。ケガや病気だけでなく、心のケアを必要とする子どもたちもいます。時には、自分の対応に力不足を感じて落ち込むこともあります。しかし、子どもたちから「ありがとう」と言われる瞬間や、自分の言葉かけで子どもたちが笑顔を見てくれる瞬間は、何よりも幸せで、力をもらいました。養護教諭になって良かったと心から思いました。

これからも、子どもたちの心に寄り添い、保健室を出て行く背中を優しく押してあげができる養護教諭でありたいと思います。そして、養護教諭を目指す皆さんとともに、子どもたちの成長の喜びを分かち合える日を楽しみにしています。

子どもたちの笑顔に支えられて

茨城県立境特別支援学校
教諭 関口 貴之

特別支援学校の初任者として過ごした1年間、子どもたちの成長を多く実感することができました。「上履きの左右を間違えずに履けたとき」、「三角巾を上手につけられたとき」、「身だしなみを一人で整えられたとき」、私も本当にうれしくて、「すごいね！」という言葉が自然に出てきました。私の言葉に少し照れながら応えてくれた子どもたちの笑顔は、一生忘れられません。時には、つらいこともあった1年間でしたが、たくさんの笑顔に支えられて乗り越えることができました。



学校は、子どもたちの笑顔があふれるとても魅力的な場所です。そのようなすばらしい環境の中で、教員を目指す皆さんとともに、一人一人の成長に携われる日を心待ちにしています。

「笑顔」でいることの大切さ

高萩市立秋山中学校
教諭 坂本 峻輔

中学校教諭として採用されて、1年があっという間に過ぎました。振り返ると、周りの先生方に助けられながら多くのことを学ぶことができた1年間でした。年度のはじめは、授業や生徒指導で悩み、憂鬱になることもありました。生徒たちの楽しそうな笑顔や頑張っている姿から元気をもらい、私も笑顔で過ごすことができました。笑顔が人を明るい気持ちにすることを生徒たちに気づかされ、それ以来、私は笑顔で教員生活を送ることを心掛けています。



教員を目指す皆さんへ、教員は子どもたちの未来に触れることができるやりがいのある仕事だと思います。教員の笑顔は生徒の笑顔につながります。生徒たちと先生方の笑顔一杯の職場で、みなさんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

子どもたちに寄り添って

龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校
栄養教諭 中井 晴香

一生つき合う「食」だからこそ、「食」が健康を支え、人生の楽しみとなるものであり続けてほしい。そのためには、子どものときから望ましい食習慣を身に付けることが大切であると考え、食育に取り組んでいます。給食管理から子どもたちとの関わりまで、何が正解なのか分からず悩むことが多い1年目でした。しかし、子どもたちの好奇心や意欲を喚起する指導や発問ができる、子どもたちのいきいきとした表情が見られた時にやりがいを感じます。そして、何より給食を食べる子どもたちの笑顔が、毎日の私の原動力です。



子どもたちの課題や成長をいつも身近に感じ、一人一人の実態に寄り添った個別指導ができることが栄養教諭の魅力だと思います。志あふれる皆さんと共に、茨城で仕事ができる日を待っています。

これから教員を目指す皆さんへ

茨城県立勝田工業高校
総合工学科 永盛 貴也

私は教諭になってから、失敗の連続です。しかし、失敗も前向きに捉え、生徒との関わりを大切にしながら日々を過ごしています。さて、これから教員を目指す皆さんへ、『採用試験に合格してからの自分の姿』を想像できますか？分からないと不安が大きくなると思います。私には不安を取り除く言葉があります。これは私自身の座右の銘でもある『準備が九割』という言葉です。年度始めに、学級目標の設定、LHRの計画、時間割や座席表の作成など、準備にしっかりと時間をかけて不安が期待に変わってきます。皆さんも、少し先の自分の将来の姿を想像し、出来そうな準備から始めてみましょう。その準備が結果として生徒の成長に繋がります。



最後になりますが、生徒は先生を本当によく見ていて『生徒の良いモデル』になれる先生を目指して、教員生活を共に楽しみましょう！

採用までのスケジュール

※実習助手については実施要項をご覧ください。

実施要項配布開始 2019年4月24日(水)

出願期間	電子申請 郵送受付 窓口受付	5月13日(月)～5月24日(金) 5月13日(月)～5月24日(金) 5月13日(月)～5月17日(金)	■電子申請の場合は、5月24日(金)の午後5時までです。 ■郵送の場合は、5月24日(金)の消印有効 ■受付時間は、午前9時～正午、午後1～5時です。 *出願先については、実施要項7ページをご覧ください。
------	----------------------	---	---

受験票送付及び特例該当通知	6月中旬	■「志願者特例」各特別選考の対象者については、受験票送付時に通知します。 ■電子申請の場合は、申請用のサイトから受験票を印字して確認することができます。
---------------	------	---

第1次選考試験	7月14日(日)	■一般選考受験者は、一般教養、教職専門、専門教科(教科によって実技等もある)試験を行います。 ■「志願者特例」の対象者については、特例の種類によって受験する内容が異なります。 ■試験当日に提出する書類については、実施要項の7ページをご覧ください。
---------	----------	---

第1次選考試験結果通知	8月6日(火) 予定	■県庁舎22階に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人あてに通知します。 また、合格者の受験番号を県教育委員会ホームページに掲載します。
-------------	---------------	--

第2次選考試験	8月24日(土) 8月25日(日)	■第1次試験合格者及び免除者だけが第2次試験を受験することができます。 ■小論文、面接等を行います。 ■「志願者特例」の対象者も、試験内容は一般選考受験者と同じです。
---------	----------------------	---

合格者発表	10月1日(火) 予定	■県庁舎22階に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人あてに通知します。 また、合格者の受験番号を県教育委員会ホームページに掲載します。
-------	----------------	--

採用前研修	2019年10月～2020年3月	■採用予定者に対し、教育研修センター及び配置予定校などにおいて採用前研修を行います。
-------	------------------	--

採用	2020年4月1日付け
----	-------------

〈参考〉過去2年間の志願倍率

		平成30年度	平成31年度
教諭	小学校	採用予定人数 約330名	約330名
		志願者数 777人	787人
		志願倍率 2.4倍	2.4倍
	中学校	採用予定人数 約250名	約250名
		志願者数 910人	870人
		志願倍率 3.6倍	3.5倍
特別支援学校	高等学校	採用予定人数 約160名	約160名
		志願者数 784人	757人
		志願倍率 4.9倍	4.7倍
	特 別 支 援 学 校	採用予定人数 約75名	約75名
		志願者数 222人	204人
		志願倍率 3.0倍	2.7倍
養護教諭	合計	採用予定人数 約815名	約815名
		志願者数 2,693人	2,618人
		志願倍率 3.3倍	3.2倍
		採用予定人数 約28名	約28名
		志願者数 232人	211人
		志願倍率 8.3倍	7.5倍
栄養教諭	採用予定人数 約9名	約9名	
		志願者数 51人	54人
		志願倍率 5.7倍	6.0倍
	実習助手 (高等学校) (特別支援学校)	採用予定人数 約4名	約5名
		志願者数 85人	83人
		志願倍率 21.3倍	16.6倍

LINE用QRコード



HP用QRコード



茨城県教育委員会のホームページ

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/>

をご覧ください

お問い合わせは

義務教育課
(小・中教諭、養護教諭、栄養教諭)

☎ 029-301-5220

高校教育課
(高校教諭、実習助手)

☎ 029-301-5256

特別支援教育課
(特別支援学校教諭、実習助手)

☎ 029-301-5275